

『みさきまぐろきっぷ』を実際に使ってみた

高2 本田 智也

ご挨拶&愚痴

座談会に続きまして少しだけ書かせていただきます。~~ぶっちゃけ言いますと(以下自主規制)~~ここでは、「高輪生の過半数が日頃通学に使用している京急には、通勤用以外にもこのような面を持ってもいるのだ!」というのを紹介させていただきます。

本当は俺がこれ書く必要は……。分かってるよね? U君。



本編、ところが・・・

なんと写真のデータが飛ぶという有り得ない事態が発生。しょうがないので写真は他の方の写真を使わせて頂いたことを予め明記させていただきます。

本編・第1章

八月日曜の某日、午前9:30、私は品川駅高輪口で「みさきまぐろきっぷ」を購入した。この日は台風が小笠原諸島を直撃しているなどとニュースで盛んに言われていた日だったので、行くかどうか悩んだ部分もあったが、結局行くことにした。

そもそも「みさきまぐろきっぷ」とは、

- * 自宅最寄駅～三崎口駅までの途中下車可能な往復切符
 - * 京急バス指定区間フリー乗車券
 - * 京急が厳選した25の店舗の中から一つ選び、特別メニューを食す
 - * 全8つのレジャー施設の中から一つを無料で楽しむ or 特典をもらうことが出来る
- という4つの特典を持つ特別切符である。

この切符を片手に、私は9:57発の泉岳寺始発、快特 三崎口行きに乗車した。

「京急は先頭に乗ってこそ」と思っている私は当然先頭を狙ったが、生憎泉岳寺から乗ってきたのであろう客に座られており、渋々近くの席に座って窓の外を眺めていた。

第2章

一見すると少し遅めのスタートに感じる方もいるかもしれない。が、これも全て計算しての動きである。というのも別に三崎の方に限らず、大体の飲食店は11時に開店することが多い。そして私の乗った列車は三浦海岸11:00着というまさにぴったりの列車だったのだ。

そして列車は遅れることなく、定刻通り11:00に三浦海岸に到着した。列車に乗っている間もトンネルを抜ける度に三浦の方に向かっていていることを強く感じたが、列車を降りて改めて「ああ、久方ぶりの三浦だ」と込み上げてくるものがあった。隣にいたおじさんには変な目で見られた。

ここで少し早めの昼食タイム。悩んだ結果、前回行こうと思って行かなかった「廻転寿司海鮮」に行くことにした。



2100形



2100形車内。乗るための追加料金は不要



三浦海岸駅



「廻転寿司 海鮮」

店を見つけてまず驚いた。というのも店の色が閑静な住宅街の中でもとても「浮いている」からである。正直一瞬ためらった。しかし店には自分と同じように「みさきまぐろきっぷ」で三浦に来ている人も沢山いるらしく、店員さんが注文を受ける度に「きっぷ〇つ」と言っていたのが今も耳に残っている。店は混雑しており、10分くらい待って席に着き、自分もまぐろきっぷ特別メニューを注文した。が写真は飛んだ。(泣)

・・・ぜひ1度足を運んでみてください。(車両の写真→Wikipediaより拝借)

ちなみにメニューで金額を出すとこのメニュー、大体2000円弱。往復運賃が1860円なのでもう元を取っている。(まぐろきっぷ品川発着3060円) うむ。安い。(確信)

さて、飯を美味しく頂き、腹ごなしがてら三崎口駅まで歩いてしまう。春にはこの道は河津桜と菜の花が満開になり、そこに真っ赤な京急が入り圧巻の絶景となる。おまけに道沿いに野菜直売所があり、安くて超美味しい三浦の野菜を買うことが出来る。ただし、電車で運ぶのはかなり骨が折れるのであまりお勧めはできない。とは言え、味は絶品なのでぜひ一度食べてみることをおすすめします。

しかし登り下りがキツイなあ。三浦海岸駅と三崎口駅の間には一つ谷があるのが原因である。実にいい運動になったと好意的に捉えておこう。

そして三崎口駅前に着くと目の前にこれから向かう油壺行きのバスが。余力を振り絞り何とかバスに乗車し、空席を見つけ、バスに揺られて十数分、第二の目的地、油壺マリンパークへ到着した。

第3章

ここで油壺マリンパークに行く前に現在の京急のシステム(実用編)についてかるーくご説明いたします。

よく「普通に乗って行ったら待ち合わせばかりですごい時間かかった」という声を耳にしますが、ここで京急に乗る際の鉄則をご紹介します。

◎「急ぐなら」行けるところまでは優等列車(急行、快特など)を使う

Ex)六郷土手駅～神奈川駅。いずれも普通しか止まりません。もちろん普通列車一本で楽に行きたい方はそれで全然構わないのですが、少しでも急ぐのであれば

- ① 六郷土手→京急川崎間を普通列車で
- ② 京急川崎→神奈川新町間をエアポート急行 or 特急(≠快特)で移動、この時神奈川新町で先行の普通に連絡
- ③ その普通に乗車し神奈川へ

と向かうのが最速になります。なのでとにかく急ぎたい方は優等列車を。

現在京急には

*エアポート快特・・・京急蒲田に止まらず品川～羽田間を全て通過する最速列車だが、

→快特

横浜方面にこの種別は存在せず、すべて都営線方面からの列車。

いまでこそ40分に1本(都営線内は20分に1本)だが、かつて20分に1本だったときは多額の工事費を出した大田区から「蒲田も停めろ」とものすごい批判を受けた種別。

* 快特・・・「京急といえばこれ」というほどの種別。空港線、久里浜線を通るが本線(堀ノ内～浦賀)、逗子線(金沢八景～新逗子)には向かわない。実は京急の本線は品川～浦賀間なのだが、快特は浦賀に行かないと

快特

いう何とも珍妙なものである。

* 特急



- ・・・平日の朝、夕方、土休日の朝の快特とさせていただいて差支えなく快特との停車駅の差はほとんどない。快特と異なり、すべての区間を走行する。(大師線は普通のみ)
ちなみに下り電車の終電は特急である。

- *エアポート急行・・・羽田から品川方面 or 新逗子へと向かう弱優等列車。品川から直接横浜方面へ行くことはない。また、上大岡などで快特に抜かされる。昼間の新逗子行きは基本全てこの種別になる。



* 普通



- ・・・各駅停車。京急の思わず車内で転びそうになるほどの加速力があってこそ、京急の超過密ダイヤは守られている。運転手の腕が一番試される種別であることは想像に難くない。がんばってください。
ちなみに普通は京急久里浜までしか行かず、三崎口には行かない。

* Wing



- ・・・平日夕方ラッシュ時の下りのみ運行。品川～上大岡間を全てすっ飛ばす特別列車(一部除きほぼすべて2100形による運行)だが、残念ながら快特、特急を抜かさなため信号に引っ掛かりノロノロ運転を強いられることもしばしば。ただし200円追加で払えば確実に座って帰れるため、ほぼ毎日乗車整理券は売り切れる。

とこの6種別が運行されています。それではそろそろ本編へ戻ります。

* 第4章 *

さて、油壺マリンパーク！の前に少し海岸に行って海を見ました。当然カップルもたくさん居るわけですが、僕は「リア充」擁護派なので「未永くお幸せに」とか思いながらマリンパークへ向かった。何で「リア充爆ぜろ」とか言うんですかね？いいじゃん幸せそうで。

さて、マリンパーク。大人の入場料なんと1700円！それがタダなのだからもう完全に元を取っている。時間を確認すると1時少し前。丁度イルカショーが始まる時間だったので「今日運いいな～」と思いながらショーを見た。ちなみにショーは前来た時とストーリーは違えどやっけることは全く同じだった。まあいいんですけど。これ以上書くと営業妨害に――

なぜ「今日運いい」という表現をしたか。実は三浦海岸と三崎口の間を歩いているとき、運よくイエローハッピートレイン&ブルースカイトレインに出会った。

しかし写真撮ったんですけどね。カメラ・・・。というわけで是非イエローハッピートレインは生でご覧ください。ある意味アンハッピー……やほり呪いが

マリンパークではたくさんの魚が泳ぐ大水槽を見たり、ペンギンとその歩き方を真似て歩

くちびっ子に思わず頬が緩んだり、ニホンカワウソの絶滅についてなど学ぶものがあったりしたが、マリンパークに来て一番思ったことが「動物たちこんな暑い中熱中症になったりしないのかな？」であった。

そりゃそう思う。外の動物たちは一部除き皆日陰に隠れて休んでいるのだから。かわいそうで仕方なかった。これが自分が動物園・水族館・サーカス等が嫌いな理由である。

それこそ「ありのままに」だ。若者が自分勝手な行為に対してこの言葉を使うのを聞く度に頭にきてしょうがないが、こういう時には動物愛護団体の言い分もわかる。

そんな大演説を心の中でかましつつ、次の場所へと歩を進めた。

第5章

次に向かうところは、一度わざわざ駅に戻らなければならない点で面倒ではあったが、そうしてでも行く価値があると個人的に思う。

駅から出ている直通バスに乗り、目的地に向かう。そう、目的地は「長井海の手公園（ソレイユの丘）」である。

え、知らない？まあしょうがない。京急関連ではないので、「みさきまぐろきっぷ」のパンフレットにも載っていない。~~そういうところはちなんだよな~~

ちなみにこのバスも京急バスなのでタダだ。バス代全足すと1000円近くなっただがタダだ。この切符は本当にすごい。

さて、ソレイユの丘だが



- ① 入場料なし
- ② お金を払うと遊具で遊べたり、お菓子、工芸品などを作る体験教室がある
- ③ 特産品や新鮮な野菜が安く売っていて道の駅のように
- ④ 温泉まであり、海も見られてしかも絶景！
- ⑤ お金を払わなくても塔から外を眺めたり、動物と触れ合えたり、夏には水遊びができる
- ⑥ 駐車場が大きく、ほぼ待たなくてOK
- ⑦ 中で売っているものが全て美味しい

とまあとにかく美味しい点ばかり。むしろデメリットが全くない。

小さいころ親に連れてきてもらったが、健全過ぎるくらい健全な場所である。

今回行ったときはヒマワリがたくさん咲いていてなかなか見物だったので体験教室は行かなかったが、ステージでは大道芸をやっており、なかなか楽しむことが出来た。温泉は行かなかった。~~誰も男子高校生のお色気シーンなんて期待してないでしょ。ぞろぞろ！~~

本当はもう少し居たかったが、そろそろ帰りの時間が近づいてきてしまった。

帰りのバスをぼーっと待ち、三崎口駅に戻った。

第6章

少年は思った。今度こそ先頭に乗ってやると。というわけで少年は16:37発の泉岳寺行き2100形先頭に座っていた。

前にビックサイトで開催される「全国鉄道模型コンテスト」に参加し行った際に、どこかの大学が作ったレポートのようなものに「そろそろ全面展望からは卒業しましたか」と腑抜けたことが書いてあった。確かにボックス席に座って車窓を見るのも素敵だが、全面展望もやはり素敵だ。特に京急は建物の間を120km/hで駆け抜けるスリル溢れるといっても過言でない列車である。全面展望は幼いなんて考えはその考え自体が幼いものだと私は思う。

鉄道運転手になりたいという決まって鼻で笑う奴がいるが、運転手がいなければ一体何人の人の通勤・通学に影響が出るやら。笑っていい職業なんてないのである。皆それぞれいろんな事を思い、考えながら働いていることを、間違っても学生の方で馬鹿にしていい訳がない。是非今一度子供たちはここまで育ててくれた親に感謝するべきだ！

なんて大演説を再びかましつつ、行きと違い帰りはあっという間に横浜に。2100形に別れを告げ、後から来たエアポート急行に乗り、自宅最寄駅に到着。夕飯前には家に帰った。

清算 ぐ(・・) <お客さんお勘定~

本来

品川～三崎口 往復運賃	1860円
京急バス 運賃合計	1160円
まぐろ料理	1800円(メニューより換算、およそ)
油壺マリンパーク 入園料	1700円
<hr/>	
計	6520円
「みさきまぐろきっぷ」	3060円

結論

(((((((° Δ°)))<なんじゃこの安さは！！

そう。ぶっちゃけ行ってマグロ食べて帰れば元とれているという破格のきっぷなのである。

まとめ

まず鉄研なのに列車の写真が少ないのはカメラに免じてお許しを。ただ三崎口は1時間強で行って帰れて、しかも都会とは全然違う雰囲気を楽しむことが出来るというまさに「遠くて近い」それが三崎の力なのだと私は思います。

さて、中3で初めて停車場を書かせていただいてから2回目であり最後でもあるのですが、今回は何と2つも書くことになりました。自分でもびっくりです。そして前に書いた文章と比べて思うのが「少なからず自分の文章力は上がっているのではないか」ということです。

まあ前に書いた文章が4学生のレベルが低かったので、しかもそれがネットからいつでも閲覧出来る(宣伝)のも知って当時は顔から火が出るほど恥ずかしかったです。(笑)

ただ、歳を取ればとるほど不思議なことに時間の流れる速さを早く感じるもので、あっという間に高2です。「勉強なんて定期テスト分だけやっとならば」なんて言えない時期に入ってきました。まあそれでも嫌いなものは嫌いなので上手く折り合いをつけてやっていかなければならないのですが。

ところで今年の停車場なのですが、(勝手に全部のまとめにw)「北斗星」について誰も書かないという鉄研としてあるまじき現象が起きております。だからどうか別に言いません。列車はそれぞれ好みですし、現に自分もJRよりも私鉄の方が好きです。貨物のコンテナが好きな部員もいます。つまりところ好きなものをどれだけ愚直なまでに愛せるかが大事だと思います。先ほどの全面展望もそうです。いい歳して全面展望をカメラに収めている人も見かけますが、迷惑になっていなければ何だっていいんじゃないんでしょうか。ただ、子供がいたら譲ってあげてください。(笑)

というわけで第2編では「好き嫌い」について少し高説垂れてみました。まあ好き嫌いにおいて大事なものは「主観と客観を見極める」ことでしょうね。自分が嫌いだと思っていたものが、いつしか皆が嫌っているものだと勝手に記憶を良い様に捻じ曲げてしまうのが人間です。逆も然り。是非気を付けてみてください。こんなことで世界の色は変わります。

なあんで偉そうにほざきましたがそろそろ終わりのようです。最後に是非三浦半島の方へ足を運ばれることを強くお勧めして終わりにさせて頂きたいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。

<まぐろきっぷ詳細> http://www.keikyu.co.jp/information/otoku/otoku_maguro/

<ソレイユの丘> <http://www.seibu-la.co.jp/soleil/>